



弁護士深草徹の「ここがポイント」

「文武両道」を廃した日本国憲法

深草 徹



今の時代、「文武両道」というと、勉強もスポーツも両立させるという意味で、よいイメージが持たれますね。わが子、わが孫であれば、是非そうあって欲しい、と願う人は多いのではないのでしょうか。

しかし、国のあり方として、「文武両道」というのはいただけません。戦前、日本は、「文武両道」と言いつつ、“武一道”で突っ走ったことを思い起こして下さい。

今年の5月3日は、憲法施行70周年の記念すべき日でした。この日、安倍首相は、憲法9条1項、2項をそのままにして、新たに3項として自衛隊の存在を明記する規定を置く、東京オリンピックの開催される2020年には、新しい憲法を施行できるようにしたい、との決意を表明しました。

わが国は戦後、憲法9条により、これからの日本は“文一道”で行く！と世界に宣言しました。これは、“武”のもたらす悲惨さを目の当たりにした国民の心に、強い共感を与え、深く、広く支持され、現在に引き継がれています。

ところが、安倍首相は再び、「文武両道」を唱えているのです。これは、“武一道”への第一歩。東京オリンピックに、軍靴の足音を忍びこませてはなりません。

(九条の会.ひがしなだ共同代表、深草憲法問題研究室主宰)

憲法運動交流会を開催 「地域からの取り組み」学ぶ

「憲法こわすな！今こそ地域から取り組みを！」をテーマに、6月18日、「これからの憲法運動交流会」が神戸芸術センターで行われました。安保関連法に反対するママと有志の会など45団体による、こわすな憲法！いのちとくらし！市民デモHYOGOが主催し、市民メディアIWJが録画配信しました。

最初に、兵庫県弁護士9条の会事務局長の羽柴修弁護士が「憲法をめぐる情勢と国民投票を意識した講演」と題して講演。国民投票を意識した取り組みとして、①国会に発議させない運動②わかりやすい学習宣伝活動の強化③小学校区レベルでの統一組織づくり④1万人意見広告運動—などを提起しました。

運動交流では、①芦屋「九条の会」②丹波地域での取り組み③西宮の「てくてく けんぼうカフェM ap」④「しおや de ケンポー」⑤「親子 de ケンポー！ラッキィ池田と歌って踊って学んじゃおう！」など—各取り組み状況が、当事者から報告され、地域に根差した活動の重要性を学びました。その後、各報告者ごとの分散会で、さらに深めました。



「あすわか」が「共謀罪」強行にアピール

委縮せず、「不断の努力」で廃止させよう

(※あすわか=明日の自由を守る若手弁護士の会が6月15日、「共謀罪」の強行採決に、抗議声明を出しました。抜粋で紹介します)

私たちには自由にものを考え、表現する自由があります。心の中を誰にも覗かれない自由があります。憲法に違反する共謀罪のせいで、皆さんが自発的に自由を手放したら、永遠にこの国の民主主義は帰ってきません。一人ひとりが考え、表現し続けることは、「共謀罪」を運用させずに死文化させる大きな圧力になります。

万が一、おかしい政治に声を上げる市民が共謀罪で捜索されたり、逮捕されたりしても、けっして「犯罪者」扱いしないでください。テロ等準備罪という、まがまがしい名称で、「もの言う市民」を反社会的な存在かのようにレッテル貼りする手口に乗せられたら、排除を恐れてみんな考えることを止めてしまいます。自由に政治を批判して何が悪い、という風を吹かせ続けましょう。国民の心を侵すことに何のためらいもなく、同法案に賛成した政府・与党、すべての国会議員を、私たちは忘れません。全身の血が沸くほどの怒りをもって、あなたたちを許しません。

いくらでも濫用できる条文で、「もの言う市民」を恫喝する現政権に、民主主義国家の舵を取る資格はありません。

落胆、やりきれない思い、徒労感。すべての重い気持ちで押しつぶされそうになっているすべての人へ。それでも希望はあるのです。あなたがその怒りを前向きなエネルギーに変えてくれる限り！私たちは、今ある自由と、自由でいられる社会を手放したくありません。子どもたちの尊厳と自由も、穏やかな民主主義の社会も、手放すつもりはありません。自由を行使し続けることでしか、自由は守り抜けない——憲法が問いかける「不断の努力」の覚悟を、「彼ら」に見せつけましょう。

平和随想

権力が「事実」を作る時代の到来か？

久保富三夫

「森友・加計疑惑」は、安倍首相らの関与が「黒にきわめて近い灰色」のままで、日が過ぎてゆく。「記憶にない」、都合の悪いことは調査しない、あるいは、名ばかりの調査で「確認できなかった」。自らの説明責任は何ら果たさないまま、首相・官房長官を先頭に卑劣な個人攻撃を行う（元毎日新聞・西山太吉記者のことを想起）。

「国政私物化」の批判は当然だが、それにとどまらない恐怖を感じる。私たち国民には、紛争地帯や戦場での事実・真実はわからない。自分の目では、事の真偽は確認できない。柳条湖・盧溝橋・トンキン湾事件、「ナイラの証言」、「イラク大量破壊兵器保有」。虚偽・ねつ造であっても、結局は政府の発表がまかり通る。5月28日の「朝日」朝刊「日曜に想う」の「今はまだ岸边漂う笹舟が」は、重たく心に響いた。「あるとき一気に戻れぬ流れに乗ってしまわないか」と。けれども、「まだ岸边漂う笹舟」なのだろうか。

(立命館大学大学院教職研究科教授、2017年6月4日記)

共謀法阻止！「講演と映画の集い」成功 御影公会堂大ホールで6月3日に開催 実行委を発展改組し、統一行動強化へ



「共謀罪阻止」、平和と民主主義を守る講演と映画の集いが6月3日（土）、リニューアル成った御影公会堂（神戸市東灘区）で開催され、約180人が参加しました。

第1部では、兵庫県弁護士9条の会事務局長の羽柴修弁護士が「戦前の悲惨な経験を繰り返さないために」と題して講演。戦前の暗黒時代に国民を抑圧し、侵略戦争へと動員した治安維持法の現代版といわれる「共謀罪」の怖さを告発し、「監視社会を許さず、戦争する

国づくりを阻止しよう」と訴えました。

第2部のアニメーション映画「火垂るの墓」上映会は、戦時中、灘区中郷町に住んだ、後の直木賞作家・野坂昭如の原体験をもとにし、石屋川周辺や御影公会堂など近隣の風景もふんだんに登場する「ご当地映画」とあって、共感を呼びました。

灘区中心の同実行委員会は、この企画の成功を目指して地域の寺院、教会をはじめ諸団体・個人への協力要請や駅頭、商店街での署名宣伝などに取り組んだ統一行動の経験を活かし、組織を発展改組して今後、暮らし・平和・民主主義を守る諸活動を、さらに強めていく方針です。

住吉山手から

公僕・忠僕

公庄れい

私が12歳の時、戦争が終わって、学校の授業も変わった。新しく“社会科”の時間ができ、先生は三角おにぎりのような顔の人で、生徒はさっそく、“ニンニコ”というあだ名をつけた。ニンニコは口癖のように、公僕と言った。お役人もお巡りさんも公僕であり、国民の「しもべ」なのだという。戦時下に育った私達には、仰天するような考えであった。

その公僕という言葉で、70年ぶりに耳にした。加計学園の件で、文部科学省前事務次官・前川氏のインタビューのテレビ画面であった。前川氏は「国家公務員として、公僕としての意識を持って云々」と話しておられた。私は胸が熱くなった。今でもこんな意識を持って、仕事をしておられる方がいてくれたのか。

加計学園の問題と時を同じくして、海の向こうでは、アメリカ大統領が辞めさせたコミー前FBI長官と大統領の発言が、いろいろと取り沙汰されている。大統領は、コミー氏に忠僕であることを期待し、コミー氏は公僕でありたいと応じて鹹（クビ）になったようである。世の中、悪い奴らがのさばっているようだが、信頼できる人達もたくさんいるのだ、とホッとした思いである。

（孫たちの将来を案じるおばあちゃんの会）

九条の会訪問記（その56） 芸人9条の会

“ユルい会”でも旗幟鮮明 多彩な顔ぶれで“大爆笑”

芸人9条の会は、映画人9条の会に触発され、女性落語家・古今亭菊千代の呼びかけに応じて2015年9月、東京・浅草で旗揚げしました。「代表者もないし、開催頻度も特に決めていない」という“ユルいグループ”ですが、約20人のメンバーには、“お笑い系”だけでなく、元参議院議員の中山千夏ら多彩な顔ぶれも参加して、“大爆笑”を巻き起こしてきました。

その芸人9条の会が今年5月7日、大阪・東成区民センター大ホールに約650人を集めて、大阪公演を盛大に開催しました。全国で5回目、大阪で2回目。後援は九条の会・おおさか。

安倍暴走政権の立憲主義破壊、現代の治安維持法＝共謀法で戦争体制づくりを加速し、とかく「芸能人は政治的意見を表明しづらい」と言われる状況下でも、旗幟鮮明にしています。「憲法クン」が話題の松本ヒロ、脱原発を訴えるおしどりマコ&ケンらも、元気です。（写真提供：芸人9条の会）



催し案内

憲法改正で白熱討論「緊急事態条項」

賛成派：奥村文男・大阪国際大名誉教授（憲法学、日本会議推薦）
反対派：永井幸寿・弁護士（日弁連災害復興支援委員会元委員長）
日時＝7月8日（土）14：00～（開場13：30～）
場所＝兵庫県民会館9階大ホール（JR元町駅北歩3分）
会費＝無料
定員＝350名（先着順）
主催＝兵庫県弁護士会
問合せ＝☎078・341・7061

シリーズ 私の戦争体験

「正義」の戦争はない

～「満州」引き揚げ、苦難の戦後生活～

語り部：谷家勇雄さん（西岡本在住）

日時：7月22日（土）14時開演

場所：東灘区民センター第1会議室

参加協力費：500円（高校生以下無料）

主催：九条の会・ひがしなだ

問合せ：080-1485-5603（西谷）

カンパの郵便振替口座

口座記号 00900-6
番号 0217129
名義 九条の会・ひがしなだ



編集後記

「敵は本能寺」とは、まさに「共謀罪」のこと。テロ対策を口実に、1億総監視社会をつくり、「壊憲」で戦争体制の仕上げへ。あすわかのアピールが、ズバリ本質を突いています。（T）

兵庫県知事選挙、東京都議会議員選挙の真っ最中です。国の悪政に対抗する、地方自治体の役割は大きいものがあります。安倍政権の暴走に対して私たちが「一矢を報いる」機会にしたいものです。

（N生）